

## 研修 仲善 児童が自ら学ぶ国語科学習の展開

—付けたい力を明確にし、その力につながる児童の「関心」を高めたり

「自信」をもたせたりする授業づくり—

### 1 提案の概要

#### (1) 今年度の仲善支部の研究

- 第4学年の新聞作りの授業を取り上げる。
  - 付けたい力について「関心」を高めたり「自信」をもたせたりする「新聞作り」の授業アイデアやこれまでの実践例を部員が出し合い、研究部でまとめる。
  - 経験の浅い教員、国語授業に抵抗のある教員も挑戦できる手立てや、授業づくりの視点を提案する。

#### (2) 単元で付けたい力

- 相手や目的に応じて、書くことの内容を選ぶ力
- 知らせたいことの内容を明確にして記事を書く力
- 相手や目的に合った表現で記事を書いたり、読み手の興味を引く見出しや割り付け、資料等を工夫したりする力

#### (3) 具体的な実践

##### 【付けたい力に対する「関心」を高めるための手立て】

##### ① モデルを提示し、学習の過程を確認したりゴールをイメージしたりしやすくする。

- ・ 教科書に例示されている新聞、教師自作の新聞、一般的な新聞、こども新聞、いろいろあるが、実際に前年度の4年生の児童が作った新聞をモデルとして提示。
  - 新聞作りのイメージを具体的にもたせ、特徴を子どもたちが気付けるようにする。実際の新聞を見ながら学習計画を立てることができ、活動への見通しや意欲につながる。

##### ② 「誰に」「どんなことを」知らせる新聞を作るのか、相手・目的を明確にする。

- ・ 図書室に掲示して全校生に読んでもらう、印刷して家の人に読んでもらう、下級生に伝えることなどが考えられるが、3年生に4年生で初めて体験する出来事を知らせることにした。
  - 相手・目的を明確にすることで、知らせたいことが具体的になり、相手に応じた言葉や表現を取捨選択する力につながる。グループでよりよい考えに高めたり選んだりする際、相手や目的がその判断基準となる。また、新聞作りで必要な力がより具体的なものとなり、それに対する関心が高まる。

##### ③ 児童の実態を分析して課題を具体的に提示し、そこから見方・考え方を広げていけるようにする。

- ・ 子どもたちが書いた日記や作文の題から見出しを書くコツを見つけさせる。
- ・ 興味を引く見出しや写真でも、内容と合っていないと逆効果になることに資料の比較で気付かせる。
  - 目の前の子どもの課題をしっかりと分析することが、次の手立てにつながる。実際に自分たちの書いた表現物や、これまでの学習の実態から予想できる誤答をとして提示することで、自分たちの今の課題を自覚しやすくなる。

## 【付けたい力に対する「自信」を高めるための手立て】

### ① 学び合う視点を明確にし、グループ(ペア)で学び合う場面を繰り返し設定する。

- ・ 1時間の学習過程の例

<グループ活動1>いくつかの例をもとに検討する。

<グループ活動2>わかりやすく興味を引き、内容に合った見出しを考える。

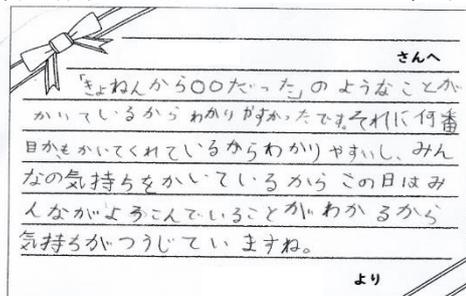
<グループ活動3>自分たちの記事に合う見出しを考える。

→ 子どもたち自身が学び合う視点に気付くような学び合いを設定する。視点が明確になることで話し合いは焦点化し、学びが深まっていく。グループでの学び合い活動を繰り返し行っていくことで、「みんなで考えたからできた」という自信をもたせることにつないでいく。

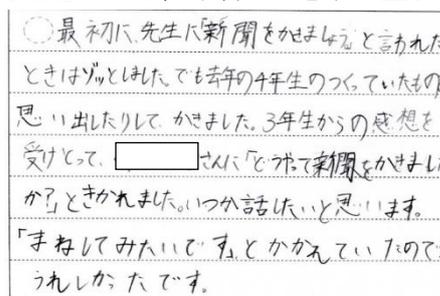
### ② 第3次「単元の学習を振り返る」を大切にす。

- ・ 作ることに目が向きがちだが、子どもにとって一番自信がつくのは誰かに読んでもらった時、感想を言ってもらった時ではないか。図書室や廊下に掲示し、全校生からポストにメッセージを入れてもらう、家の人に読んでもらいメッセージをもらう等の方法がある。今回の提案は、3年生に読んでもらい、メッセージをもらう活動である。

→ 読み手の反応が直接伝わる工夫をすることで、単元の学習の中での自分の成長を実感できる。自分の成長の実感は自信につながり、学ぶ楽しさを感じたり、学習への意欲が生まれやすくなる。



《3年生から4年生へのメッセージ》



《メッセージを読んだ4年生の感想》

### ③ 繰り返し新聞作りに取り組ませる。

- ・ 総合的な学習の時間や社会科で調べたことをまとめたり、グループで交代しながら学級新聞を定期的に発行したり、日記を書く際に新聞作りで学んだことを意識したりする。

→ 国語以外の教科や活動の中で、国語の授業で学んだ新聞作りを生かしていく。新聞を作る以外にも、日記や作文等、新聞作りで身に付けた力を使う場を意識して設定する。繰り返し取り組ませることで、成功体験が積み重ねられ、自信が高まる。

## 2 成果

- 4年生の新聞作りを取り上げる中で明らかになった有効な手立て、大切にしたい視点は他学年・他単元でも生かせるものである。
- これまで、授業参観、討議が研修の中心であったが、今回、授業アイデアや実践を持ち寄ったことで、先生方のもつ豊富なアイデアや知識、経験に改めて触れることができた。

## 3 課題

- 評価についてはまだ研究が十分に深まっていない。今後、研究の柱の一つとして取り組んでいきたい。
- 研究授業、授業参観を大切にしつつ、先生方のもつアイデアや知識を部員みんなで共有していけるような研修を工夫していきたい。

